

# どうせやるなら、ちゃんともろうく

私たちは私たちの考えるものである。 私たちのすべてのことは考えから生じる。 考えによって、私たちは世界を作る。

12 月より *EXE* の ホームページが 新しくなりました!

http://www.exe-ac.jp

検索



# 2014 2015

# 冬期講習 SCHEDULE

	-	****	****	,,,,,,	****		,,,,,,	****		****		****	****		****		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	თ	4	5	6
学年		月	火	水	木	金	土		月	火	水	木	金	土		月	火
小5・6生		休	1	休		2	3	4			休	休				5	☆
中1・2生	<b>①*</b>	講	2	講	3	4		5	6	7	講	講			8	9	☆
中3生	1		2		3	4	5	6	7	8			9	10	(11)	12	⋫

学 年	受 講 時 間	教 科	期間	受講時間数
小5・6生	9:30~11:30	国•算(2教科)	6日間	12時間
中1・2生	<b>※</b> A)17:30~19:50 B)18:40~21:00	英・数・国・理・社 (5教科)	10日間	24.5時間
中3生	12:10~16:50	英・数・国・理・社(5教科)	13日間	60.2時間

※ 校舎により時間帯が異なる場合があります。各校舎からの案内をご覧ください。
☆ 講習テストの時間帯は各校舎からの案内をご覧ください。

# ≪小6 スタートダッシュ講座≫ 小学校の学習内容にケリをつける!

冬期講習 カラ スタート

### 「中学準備講座」ですが、中学の学習内容を先取りするわけではありません

中学校に入るともちろん勉強が難しくなるのですが、小学生の時のように思うように成績を伸ばせなくなる生徒さんが多く見受けられます。定期試験であればそこそこ点数を取ることが可能ですが、模擬試験などの成績を見るとなかなか思うように成績が伸びなくなってきます。その多くの場合、小学生の内容がその時々では何とかついていけても、意外に身についていないことが原因です。小学生の時に基本的な知識や理解を身に着けていないことで、質・量ともに難化する中学の学習内容が思うように消化できず、その差は学年を追っても縮まらない傾向にあります。

ですから、「小 6 スタートダッシュ講座」は中学準備講座ですが、中学生になってからの学習の成功に結び付けることができるように、中学の学習内容を先取りすることはしません。中学での学習に必要な「小学生の内容」を中心に授業を進め、来るべき中学の学習に万全の備えをしていくのが本講座の目的です。

### ~ 小学生の保護者様へ ~

### 「小学生の時はできたんだけど…」

現在、中学生になって勉強が立ち遅れてしまっている生徒さんのデキない要因を探ってみると、ほとんどの場合、その原因は小学 5 年生からの学習にあります。特に算数・社会・理科は小学 5・6 年生の時の学習が中学生になってからできるようになるための重要な時期であることははっきりしています。しかも、これは「小学校の学習が基礎で中学校が応用だから…」などという単純な話ではありません。

たとえば、中学生のお子さんを持つ多くの保護者様が、

「小学生の時には分数、ちゃんとできたんだけどねぇ~」とおっしゃいます。また、

「小学生の時には調べ学習をしっかりやって、歴史は好きだったんですよ。」

「小学生の時は理科がすごく好きで、できたんです…。」

こうした話は、保護者様との面談の中でも、中学生の生徒さんとの会話の中でも、よく耳にします。しかし、中学生になるといつの間にかできなくなっていったり、好きでなくなったりしています。

小学生での勉強の特徴は、社会で言えば「調べ学習」です。歴史上の人物、一人に焦点をあてて、詳しく調べて歴史に興味を持つようにする。しかし、歴史がどんな風に古代から現在まで流れてきたかの流れを枠組みとしてちゃんと身につけることは二の次です。

### 中3生の保護者様へ

受験生である中3生はこの冬に佳境を迎えます。「佳境」という言葉は、日常ではある状況が頂点・最盛期を迎える意味で使われますが、本来の意味は「物語・演劇などで興味深い場面に差しかかること」の意味です。冬期講習は暮・正月を挟み、年を跨いで入試に向う、時期的にも実に興味深いものです。私立高校入試までもうひと月もない時期です。しかし、ここで学習して身につけたものは必ず入試に生きてくることは、これまでの幾多の受験生が証明してくれています。諦めなどと言う気持ちを少しでも心の底に持って勉強に向うのであれば、効果は半減するはず。進歩を信じて、少しでも、たとえ一つでもより良い状況に自分を持っていく気持ちが明日のより良い自分を作ってくれるのです。

中3生に望むべくは一言「行動あれ!」です。とにかく前に進むこと。そのために $\it EXE$  講師陣一同、全力で立ち向かう所存です。

### 【1月の入試関連日程】

1月9日(金) 私立高校推薦入学試験

1月15日(木)~21日(水) 私立高校一般入学試験

1月20日(火)~26日(月) 私立高校一般入学試験合格発表

# ≪中3生 冬期講習≫ 全13日(60.2時間) 12:15 ~ 16:55

● 県立・私立受験も視野に入れて5教科を徹底学習

- 入試に即した類題演習、総学習量・学習時間の確保
- 類題演習とその解説授業から、必要な知識の総まと
- め・総復習
- ※ 講習初日(12/21) に、冬期講習・入試に向けた 決起集会を行います。

# <u>三学期 中 3 生 土曜特別講座</u> 県立入試特別講座

## 過去 10 年分の県立高校入試問題を 徹底演習・徹底解説!

◎開講日:1/24・31・2/7・14・21

◎受講科目:5 教科(英・数・国・理・社)

◎受講時間:12:30 ~ 15:30

※詳細は後日案内を配布いたします。

✓ ですから、中学生になって「歴史の流れ」を学習する段になっての基本的知識は身についていません。そこに大量の知識を覚えるわけですから、当然いろいろな知識がごちゃ混ぜになってしまい、混乱を来すわけです。

算数は、なぜそんな風に考えるのか、なぜそうした方法で計算するのかよりも、計算のやり方を「操作」として習い、習ったときはその操作を覚えていますので「デキたぁ!」と思いますが、しばらくすると「操作」を忘れてしまいますので計算できなくなります。また、小学生の算数はドリルをちゃんとやって提出するように指示が出されます。本来、ドリルはちゃんと理解しているのか、計算方法を身につけて使いこなしているのかを演習して確かめるモノですが、学校のチェックは提出したかどうかに重きが置かれ、お子さんたちは「提出すれば許される」という意識が強く働きます。そうした勉強方法は、中学生になっても残り、ワーク中心の学習へと悪習が引き継がれてしまいます。

理科の話もしたいところですが、こうした例は挙げだすとキリがありません。「中学生の学習は小学5年生からが勝負!?」は学習内容だけではなく、「勉強の仕方」自体も小学5年生の段階で大きな分岐点を迎えてしまい、中学生になってもその差は自然には縮まっていかないということなのです。中学生の多くが学校から与えられた課題をちゃんとやっているにもかかわらず成績が伸びないのはこうした原因からです。中学3年生になって高校受験を迎えてもなかなか変わらないのが現実です。

中学で行き詰ってからでも、小学5年生に戻れればいいのですが…これはムリですね。

### 未来の受験生である中1・2生の保護者様へ

中2生は年が明けると、私立高校入試まで1年となります。いよいよ受験生というわけです。そうはいっても、 まだ生徒さんにそうした自覚があるわけではありません。まして中1生の生徒さんとなると推して知るべし、です。

「うちの子はまだ意識が低くて…」「部活が忙しくて、なかなか勉強が…」「まだ受験とか志望校とか、そういう 段階じゃないの…」と、こうしたお声をたくさんいただいています。ご安心ください。そもそも完璧な中学生なん て存在しません。どこのご家庭でもこうした悩みを抱えていらっしゃいます。

これまで *EXE* から巣立っていった受験生を振り返ってみると、受験だからと言ってある時期を境に急激に受験生に変身したわけでありません。山あり谷あり、紆余曲折です。大人が何度も何度も諭しながら接していくうちに少しずつ意識が変化し、自覚が芽生えてくるものです。

ただ、怖いのはボタンの掛け違いです。放っておいても事態は前進しません。これくらいはまだいいか、そのうち自然に何とかなるでしょう、とか考えてしまいがちですが、これはあまり得策とは言えません。

大切なことは二つ。

- 早い段階から受験を意識させた学習に向わせること
- すぐに結果が出なくても、学習を、学習に向う姿勢を止めないこと

先ほど申し上げた通り、山あり谷あり紆余曲折ですから、受験に向う姿勢はなかなか定着しません。そのためには、じっくりと時間をかけて意識を盛り上げてあげなければならないのです。結果として、3年生の部活引退後から受験を意識し始めた生徒さんとは、学習の質・姿勢ともに安定感が違ってきます。時間をかけて熟成したものは、そう簡単に崩れるものではありません。

そうした熟成した意識は、学習の継続から育まれるものです。意識が芽生えたから勉強するようになるのではな く、学習が継続されるから意識が変化していくのだと言えます。

今講習が、生徒さんにとっての一つの大事な契機である時間を紡ぎだすことができるよう、*EXE* 講師一同全力で生徒さんと向き合っていきたいと考えています。

# ≪中1・2生 冬期講習≫

全10日(24.5 時間) A)17:30 ~ 19:50 B)18:40 ~ 21:00 A or B どちらか選べます。

- 予め解いてきてもらった問題を中心に解説授業と知識の確認
- 理科・社会を含めて当学年の学習内容を総復習
- ノート作りを中心に学習のやり方を徹底確認

※ 講習初日(12/21)は入試の選抜方式の解説と自主学習のやり方を徹底するためオリエンテーションを兼ね、「**学習のガイダンス**」を実施いたします。

※ 内部塾生は、冬期講習期間は5教科必修となります。

12月~冬期 December ~Winter 予定 & 休講日 12/6日(土) 月例テスト/中3生

7日(日)休講日

14日(日) 休講日

22 日(月) 休講日

24 日(水) 休講日

31日(水)休講日/大晦日

1/1 日(木) 休講日/元旦

8日(木) 3学期開講日

11日(日) 休講日

12日(月)休講日/成人の日

18日(日) 休講日

25日(日) 休講日

※ 1月12日は休講日ですが、中3生のみ 授業を行います。13:00~16:00

\*編集後記\* ここ数年、気に掛けていることと言えば、「丁寧さ」であろう。何かにつけ「慣れ」というのは恐ろしいもので、いろいろなことが色褪せ雑になると、物事が旨く立ち行かなくなり、苛立ちすら遂じる。そんな時は焦らず、下手でもいいから「丁寧に」と思い直して事にあたることにしている。自分を取り巻くあらゆることに「丁寧に」接している限り、歯車は回り出すようだ。こうした解決の糸口を幾つか用意しておくだけで、マトモに生きていけそうな気分すら湧いてくるものだ。

短隼 以足猫